

地域特性 (1) 人口、世帯数の増加と高齢者、単独世帯の増加

- ・北広島市の人口は、住民基本台帳（H20. 3. 31）でみると60,987人、国勢調査（平成17年）でみと60,677人となっています。
- ・平成7年は、53,537人でしたので、平成17年を比較すると、この10年間で7,140人の増加（1.13倍）となっています。
- ・世帯数は、住民基本台帳（H20. 3. 31）でみると25,303世帯、国勢調査（平成17年）でみると22,362世帯となっています。
- ・平成7年は、17,521世帯でしたので、平成17年と比較すると、この10年間で4,861世帯の増加（1.29倍）となっています。
- ・65歳以上の年齢の方は、平成20年で11,916人おり、総人口の19.5%を占めています。
- ・平成7年と平成17年を比較すると、この10年間で4,416人の増加（1.67倍）となっています。
- ・世帯主が65歳以上の単独世帯は、平成12年で945世帯でしたが、平成17年には1,461世帯となっています。男性では221世帯が341世帯に、女性では724世帯が1,120世帯へと増加しています。
- ・75歳以上に限ってみると、単独世帯は、399世帯から731世帯へと増加しています。男性では82世帯が154世帯へと、女性では341世帯が731世帯へと増加しています。夫婦のみの世帯は、648世帯から1,003世帯へと増加しています。

◎本市における急速な高齢化の進行は、今後ますます支援を必要とする人々の増加が予想されます。また、高齢者世帯のうち単独世帯や夫婦世帯の増加は、家族など身近な支援が困難となることが予想されることから、公的支援とともに、地域での見守りや支援がより一層必要となると思われます。

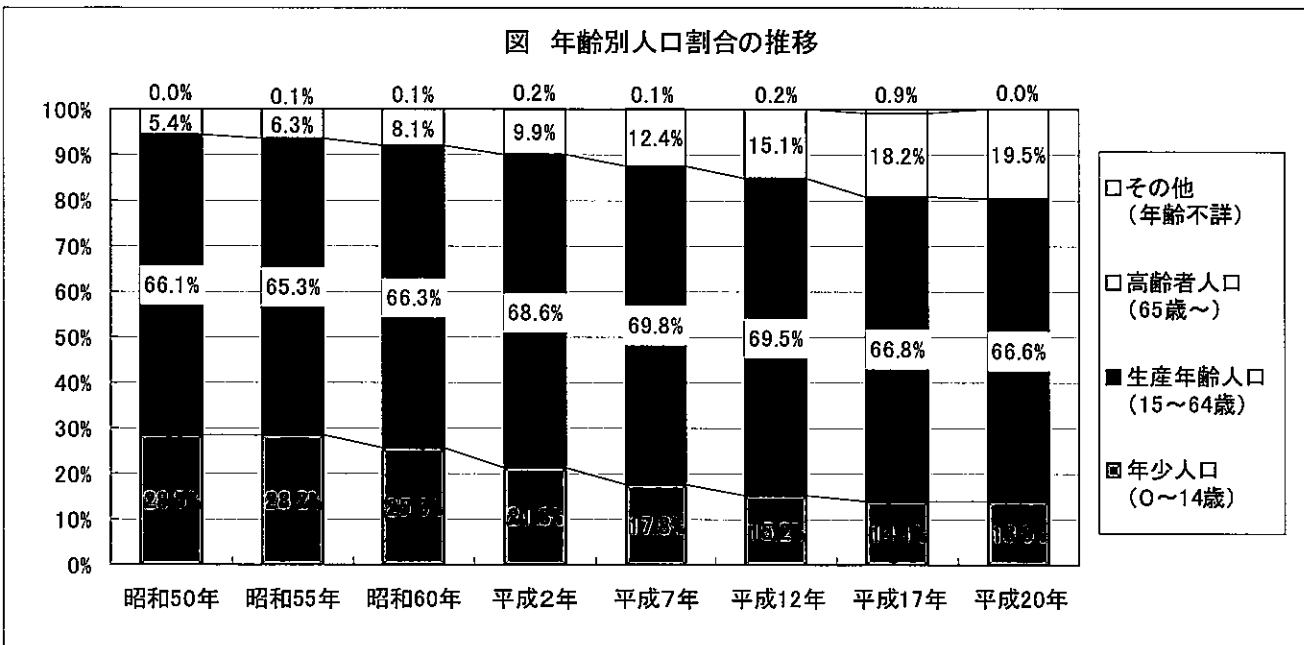


表 北広島市の人口・世帯数の推移

	総人口	世帯数	平均世帯人員	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳~)	その他 (年齢不詳)
昭和50年	22,264	6,052	3.68	6,344	14,710	1,210	0
昭和55年	34,148	9,896	3.45	9,635	22,313	2,166	34
昭和60年	40,853	12,026	3.40	10,471	27,068	3,291	23
平成2年	47,758	14,662	3.26	10,154	32,762	4,748	94
平成7年	53,537	17,521	3.06	9,529	37,343	6,616	49
平成12年	57,731	20,305	2.84	8,780	40,128	8,723	100
平成17年	60,677	22,362	2.71	8,572	40,553	11,032	520
平成20年	60,987	25,303	2.41	8,479	40,592	11,916	

資料：平成17年まで国勢調査、平成20年は3月末現在の住民基本台帳

表 北広島市の世帯主年齢階層別の世帯数 (単独世帯)

	総数	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	65歳以上	75歳以上
平成12年	3,390	259	775	345	319	496	520	514	162	945	399
平成17年	4,031	212	691	429	354	562	682	719	382	1,461	731

資料：国勢調査(各年10月1日)

表 北広島市の世帯主年齢階層別の世帯数 (単独世帯【世帯主：男】)

	総数	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	65歳以上	75歳以上
平成12年	1,628	145	444	214	205	244	161	109	35	221	82
平成17年	1,895	121	406	255	223	291	220	156	81	341	154

資料：国勢調査(各年10月1日)

表 北広島市の世帯主年齢階層別の世帯数 (単独世帯【世帯主：女】)

	総数	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	65歳以上	75歳以上
平成12年	1,762	114	331	131	114	252	359	405	127	724	317
平成17年	2,136	91	285	174	131	271	462	563	301	1,120	577

資料：国勢調査(各年10月1日)

表 北広島市の世帯主年齢階層別の世帯数 (夫婦のみ)

	総数	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	65歳以上	75歳以上
平成12年	5,178	0	219	406	346	1,119	1,677	1,150	261	2,262	648
平成17年	5,938	1	140	460	341	1,159	2,004	1,446	387	2,786	1,003

資料：国勢調査(各年10月1日)

地域特性 (2) 地区別の人口動向と地域の高齢化

- ・北広島市の人口動向は、市全体としては、人口、世帯数ともに、わずかながら増加しています。
- ・地区別では、東部地区、西の里地区、大曲地区、西部地区は、人口、世帯数ともに増加しています。北広島団地地区は、平成7年をピークに人口が減少しています。高齢化率は北広島団地地区が27.9%で、5地区の中で最も高齢化が進行しています。西部地区、大曲地区は、住宅地開発にともなう若い世帯の転入が多いため、地区全体としては高齢者の比率があまり高くなっていない状況となっています。
- ・要援護者の視点から見ると、北広島団地地区は、高齢化の進展が著しいことから、今後、支援を必要とする人の増加が予想されます。北広島団地地区など高齢化が進行し、高齢者のみの世帯や家族の中に高齢者がいる世帯の多い地区では、家庭内での介護に力が注がれるため、地域の障がい者や高齢者を地域で見守り、支える力(=地域力)が弱ることが危惧されます。また西の里地区や西部地区のように人口の少ない地区では、支援を必要とする人を地域で見守る住民自体が少ないことが予想されます。
- ・自治会は、全市で概ね150団体で推移しているものの、加入世帯の比率が低下する傾向にあることから、地域を支える力が弱まりつつあるともいえます。

■地区別人口・世帯数の推移

	平成2年			平成7年			平成12年			平成17年		
	人口	世帯数	世帯人員	人口	世帯数	世帯人員	人口	世帯数	世帯人員	人口	世帯数	世帯人員
総数	47,758	14,662	3.26	53,537	17,521	3.06	57,731	20,305	2.84	60,677	22,362	2.71
東部地区	12,170	3,987	3.05	13,839	4,782	2.89	14,745	5,569	2.65	15,643	6,150	2.54
北広島団地地区	18,852	5,833	3.23	19,163	6,449	2.97	18,527	6,889	2.69	17,646	7,009	2.52
西の里地区	4,888	1,406	3.48	5,085	1,562	3.26	5,698	1,865	3.06	6,661	2,270	2.93
大曲地区	10,245	3,003	3.41	13,154	4,078	3.23	15,599	5,042	3.09	16,968	5,791	2.93
西部地区	1,603	433	3.70	2,296	650	3.53	3,162	940	3.36	3,759	1,142	3.29

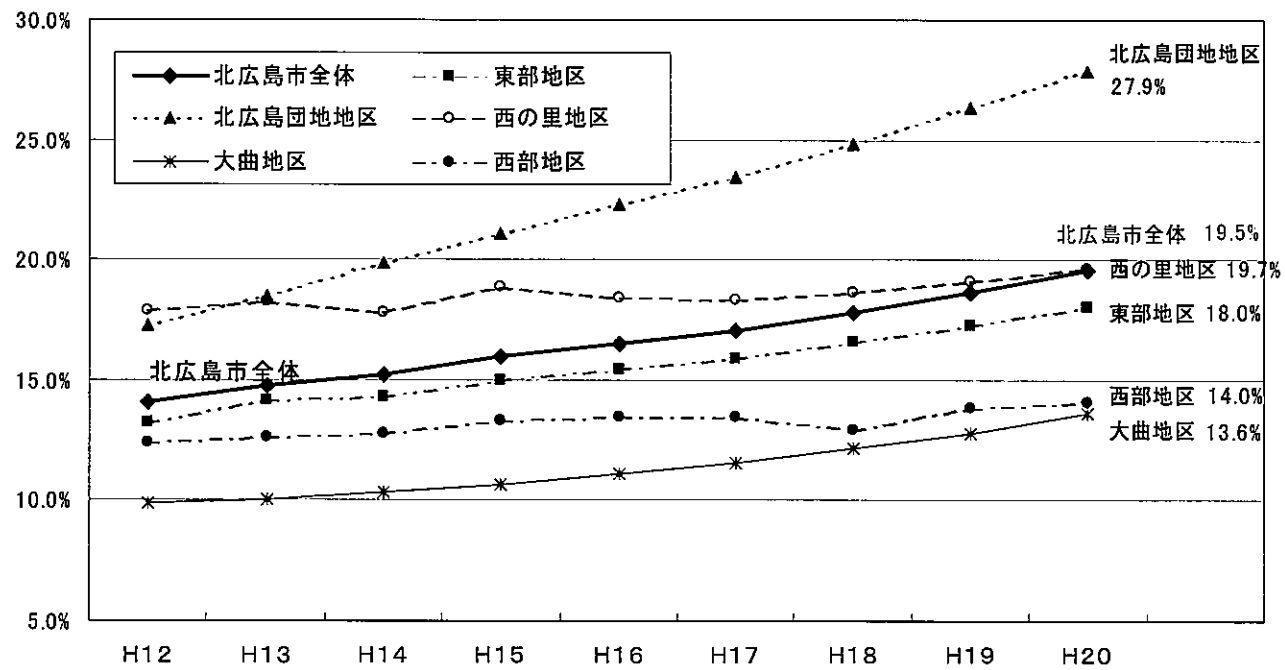
資料: 国勢調査

■地区別人口・高齢者人口(65歳以上)の推移

		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
		北広島市全体	総人口	57,364	58,038	59,209	59,092	59,635	60,274	60,698
	高齢者人口	8,068	8,562	9,023	9,421	9,830	10,283	10,788	11,369	11,916
	高齢化率	14.1%	14.8%	15.2%	15.9%	16.5%	17.1%	17.8%	18.7%	19.5%
東部地区	総人口	14,469	14,438	14,807	14,921	15,098	15,328	15,458	15,616	15,780
	高齢者人口	1,915	2,042	2,122	2,236	2,333	2,433	2,566	2,695	2,845
	高齢化率	13.2%	14.1%	14.3%	15.0%	15.5%	15.9%	16.6%	17.3%	18.0%
北広島団地地区	総人口	19,169	18,928	18,699	18,464	18,148	18,081	17,992	17,783	17,559
	高齢者人口	3,310	3,503	3,718	3,888	4,041	4,243	4,463	4,689	4,892
	高齢化率	17.3%	18.5%	19.9%	21.1%	22.3%	23.5%	24.8%	26.4%	27.9%
西の里地区	総人口	5,413	5,591	6,018	5,790	6,140	6,381	6,512	6,623	6,660
	高齢者人口	967	1,021	1,070	1,094	1,129	1,171	1,214	1,266	1,310
	高齢化率	17.9%	18.3%	17.8%	18.9%	18.4%	18.4%	18.6%	19.1%	19.7%
大曲地区	総人口	15,408	16,054	16,503	16,695	16,893	17,015	17,021	17,008	16,995
	高齢者人口	1,517	1,614	1,706	1,775	1,874	1,968	2,065	2,176	2,308
	高齢化率	9.8%	10.1%	10.3%	10.6%	11.1%	11.6%	12.1%	12.8%	13.6%
西部地区	総人口	2,905	3,027	3,182	3,222	3,356	3,469	3,715	3,928	3,993
	高齢者人口	359	382	407	428	453	468	480	543	561
	高齢化率	12.4%	12.6%	12.8%	13.3%	13.5%	13.5%	12.9%	13.8%	14.0%

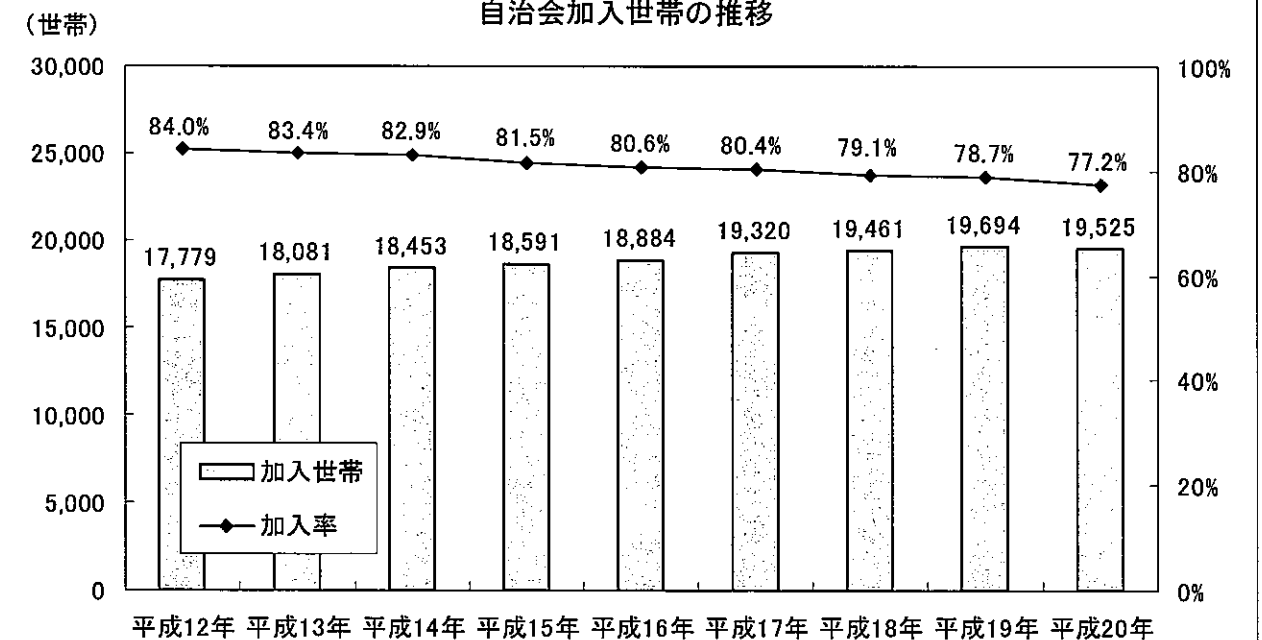
資料: 住民基本台帳/各年3月末日

地区別高齢化率の推移



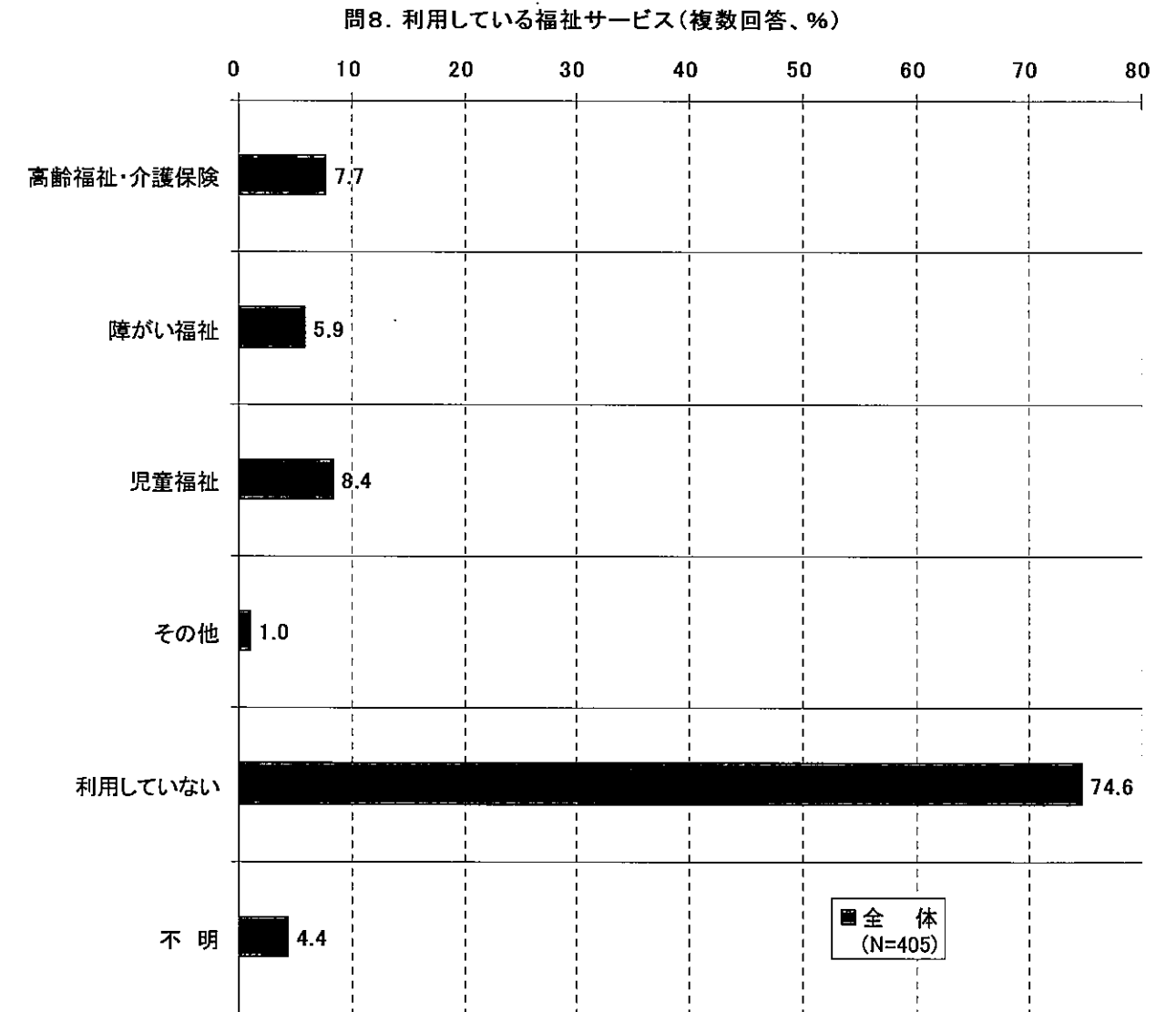
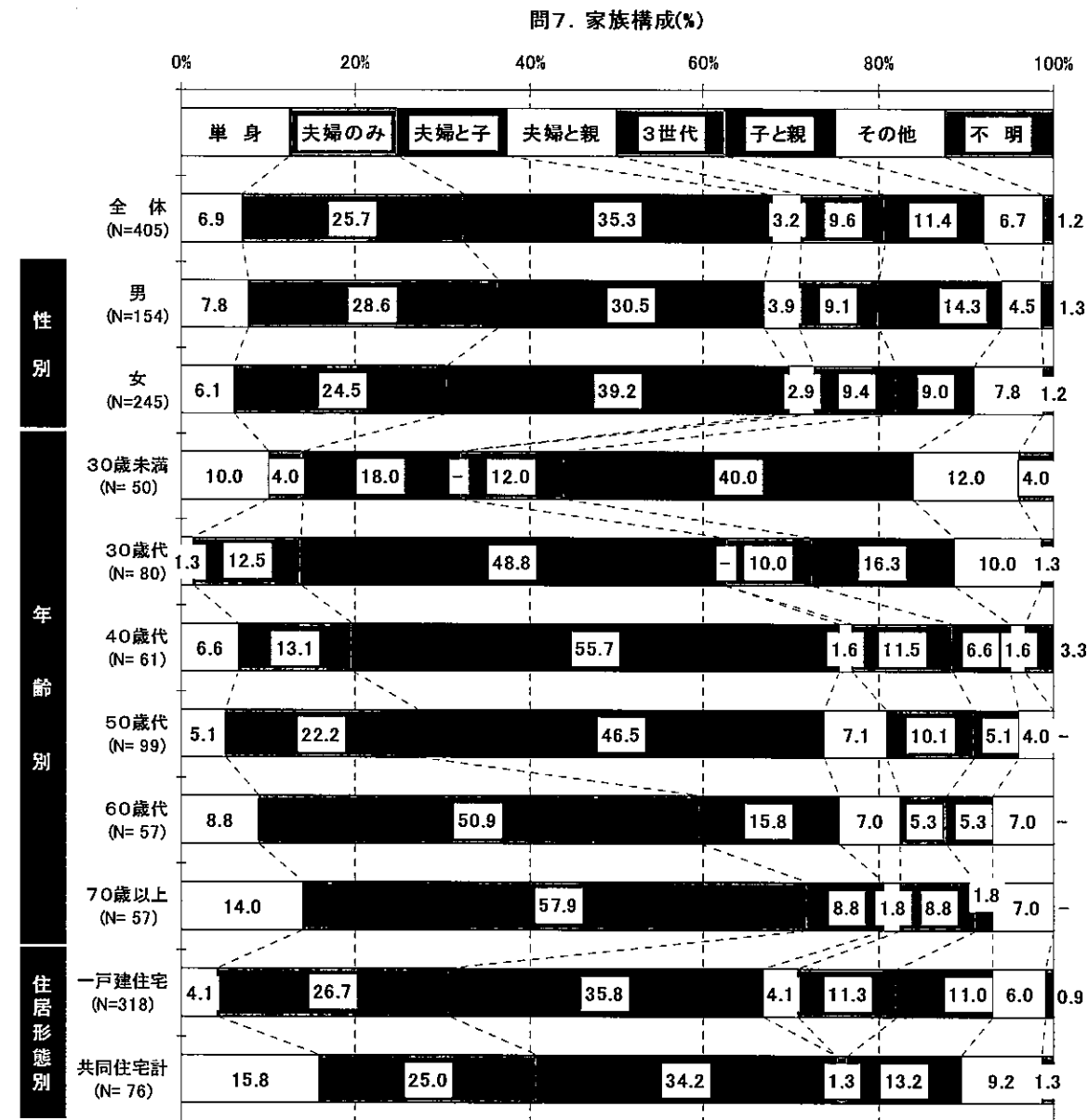
資料: 住民基本台帳 (各年3月末日)

自治会加入世帯の推移

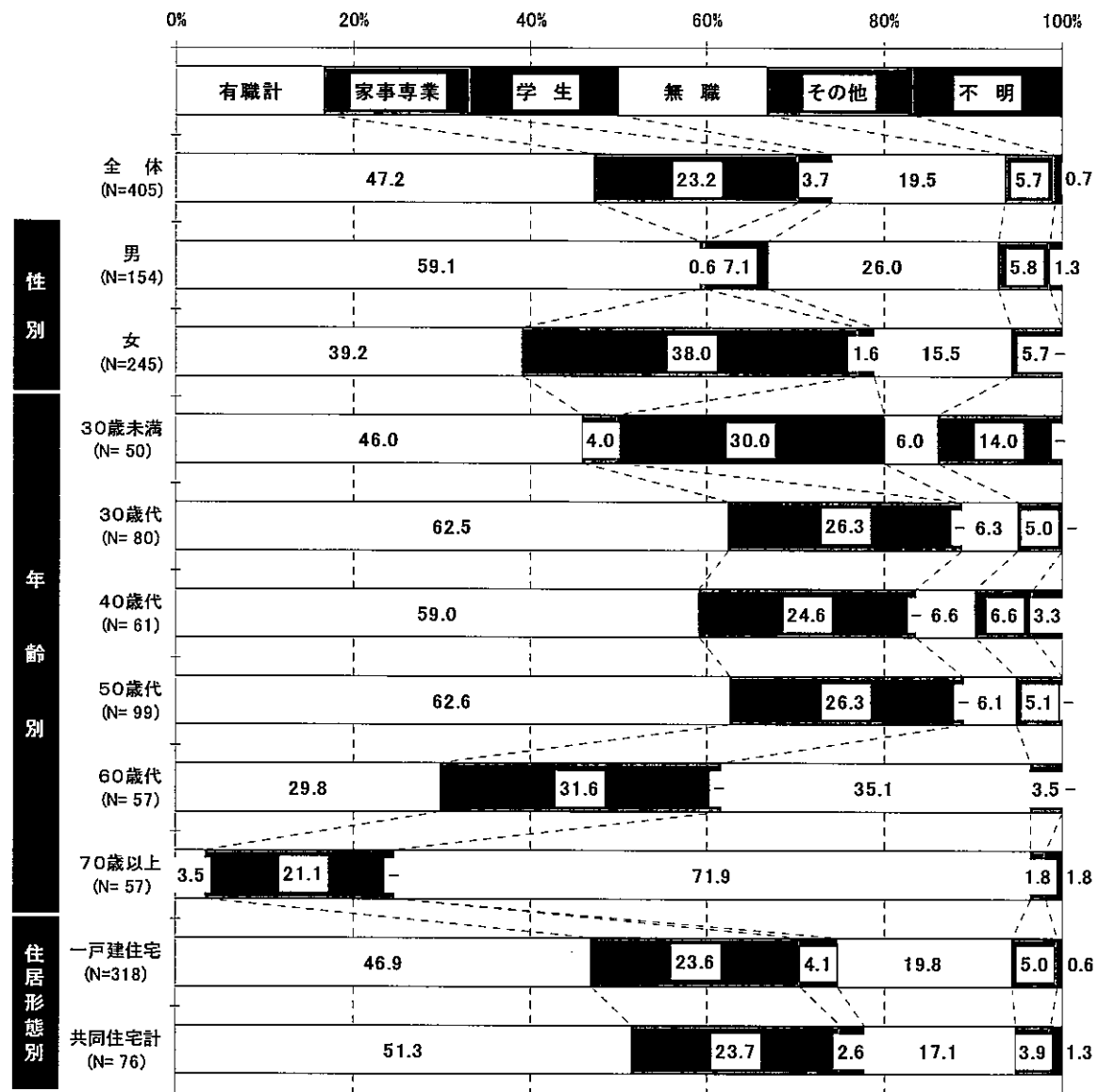


アンケート集計結果 (1) 回答者の属性など ～地域には様々な福祉サービスや支援を必要とする人がいます～

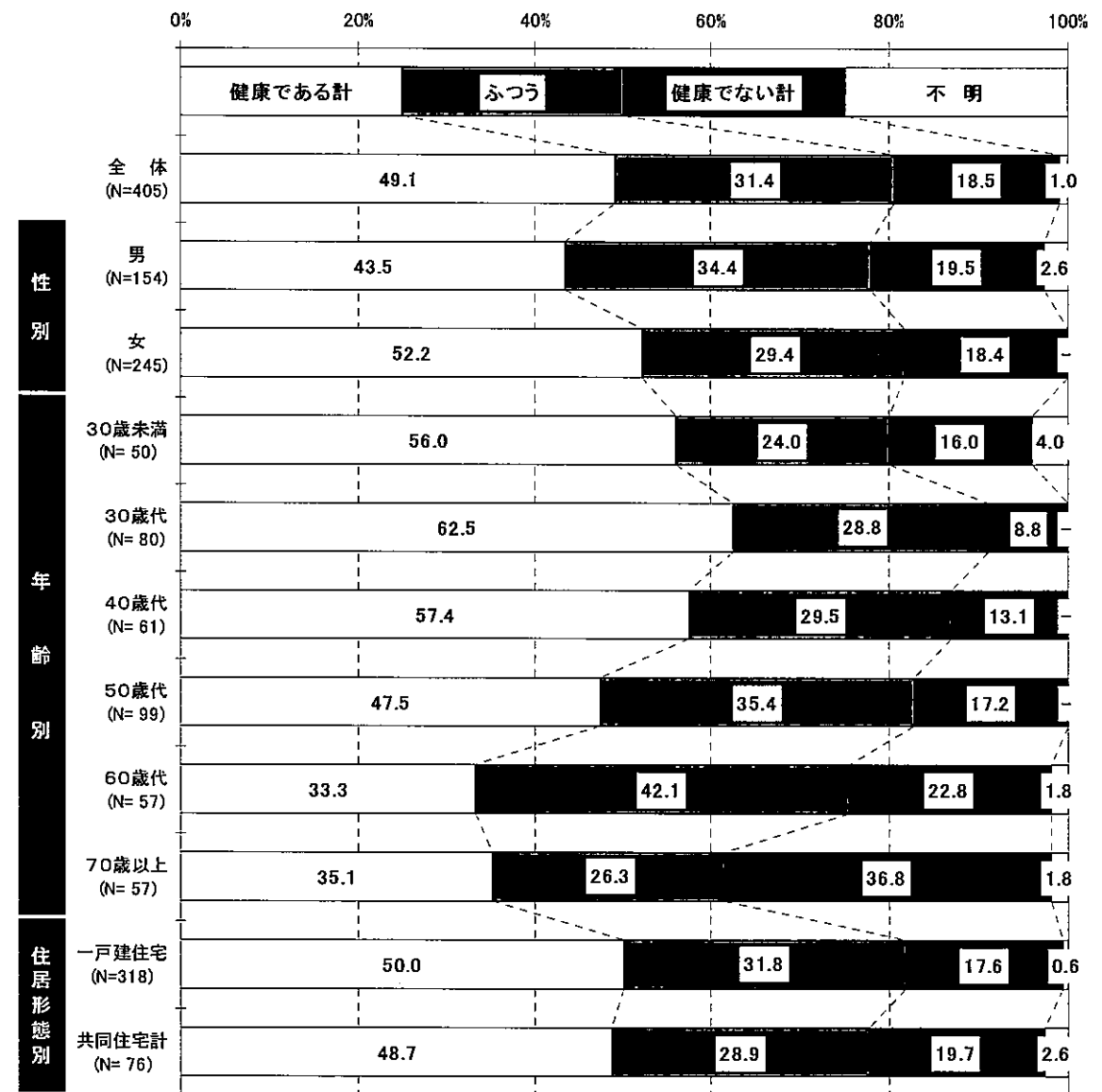
- ・地域には、様々な年齢の方、戸建て住宅や借家に住む人、単身世帯や夫婦のみの世帯、夫婦と子、一人親と子の世帯、世帯主と親、三世代（世帯主と子と親）、その他、様々な住民や家族が住んでいます。
 - ・全体で、一番多い家族構成は「夫婦と子」（35.3%）、ついで「夫婦のみ」（25.7%）です。この2つの家族構成が全体の約6割を占めています。
 - ・年代別にみると30歳未満では「子と親」世帯が40%と最も多く、30～50歳代では「夫婦と子」世帯が最も多くなり、約半数を占めます。60歳代以上になると「夫婦のみ」世帯が最も多く、半数以上を占めるようになり、年齢が高齢になるほど徐々に「夫婦のみ」世帯が増加しています。70歳以上では「単身」世帯が14%と、他の年代に比べ高い比率となっています。
 - ・また、家族の中に、高齢者介護や障がい福祉、児童福祉など様々な福祉サービスを利用している同居家族もいます。
 - ・仕事を持っている男の人、女の人、様々な年齢の人もあります。また家事専業の方、学生も住んでいます。
- ・地域には様々な人が住んでいることから、家族構成、年齢や健康状態、身体特性など個人や世帯の能力に応じ、地域で支えあえるよう、地域情報的確な把握や住民同士の面識を深める、日頃からの交流が何よりも望まれます。



問3. 回答者職業(%)



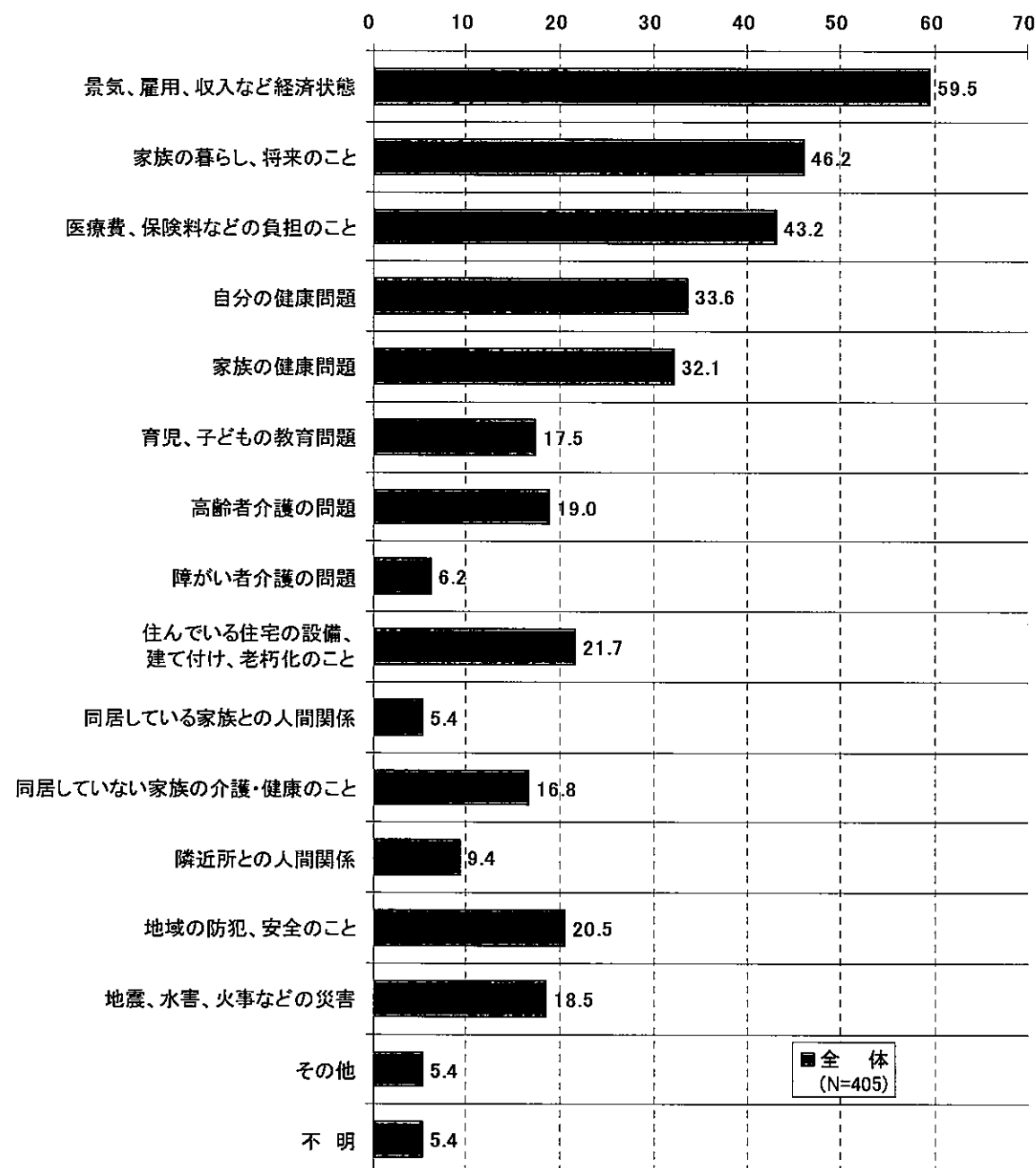
〈健康〉問1. 自分の健康状態の評価(%)



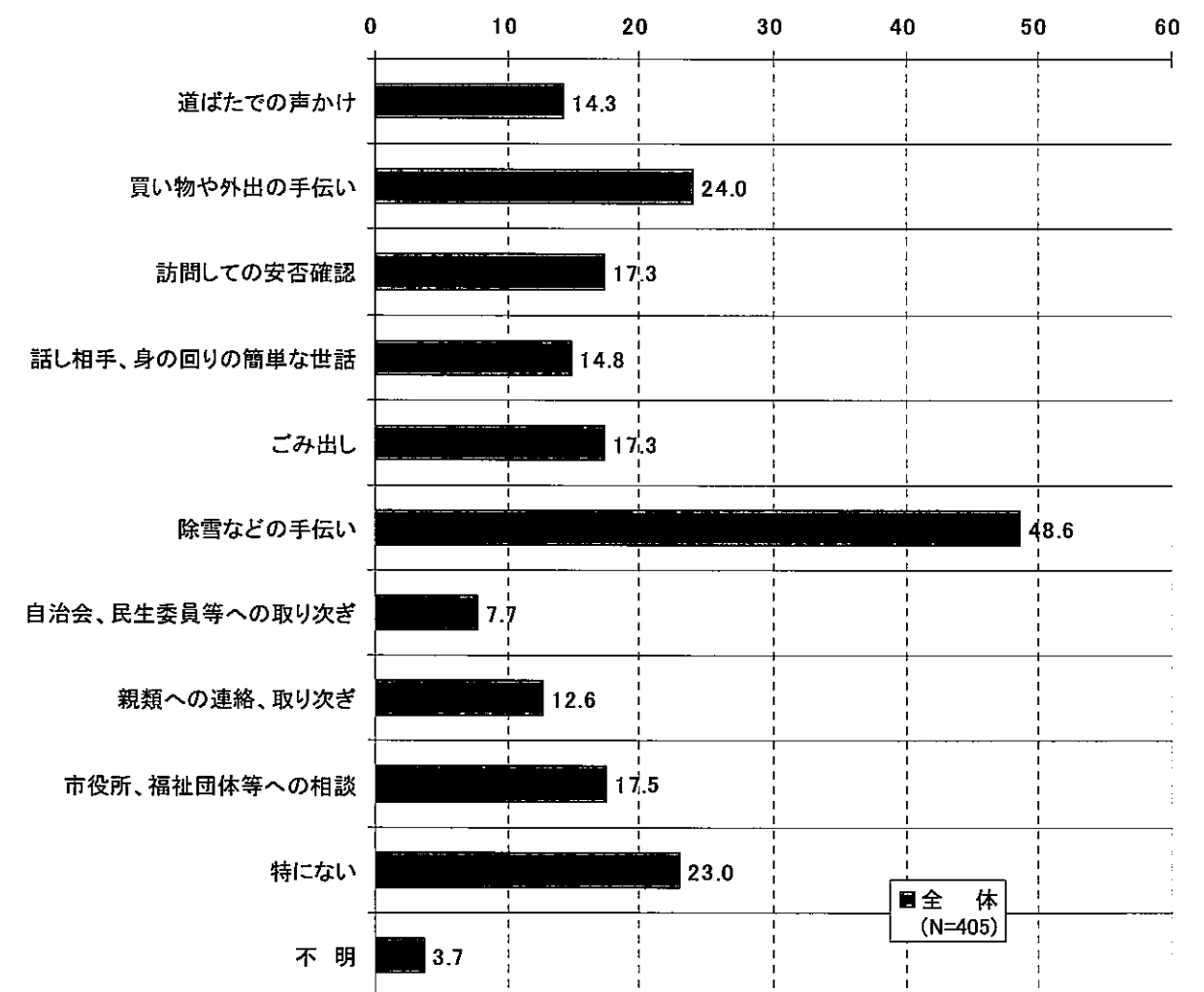
アンケート集計結果 (2) 回答者の生活について ～地域で期待されている手助けは～

- ・住民の話題や悩みは多様です。経済的な関心ごとが最も多いものの、健康問題、教育問題、高齢者や障がい者の介護問題、家族との人間関係、近隣関係、防犯や災害への関心も多く出されています。
- ・一方、地域住民に手伝ってほしいと期待されていることには、除雪などの手伝い（48.6%）、買い物や外出の手伝い（24.0%）、市役所・福祉団体への相談（17.5%）、安否確認（17.3%）、ごみ出し（17.3%）、親類への連絡・取り次ぎ（12.6%）などとなっています。
- ・地域で期待されている手助けは、除雪の手伝い、買い物や外出の手伝い、ごみ出しなど、ごく身近な問題です。また、安否の確認、道ばたでの声かけなど、日常の見守りにも期待されており、行政サービスだけではカバーできない部分が出てきています。

問9. 家庭での話題、悩み(複数回答、%)



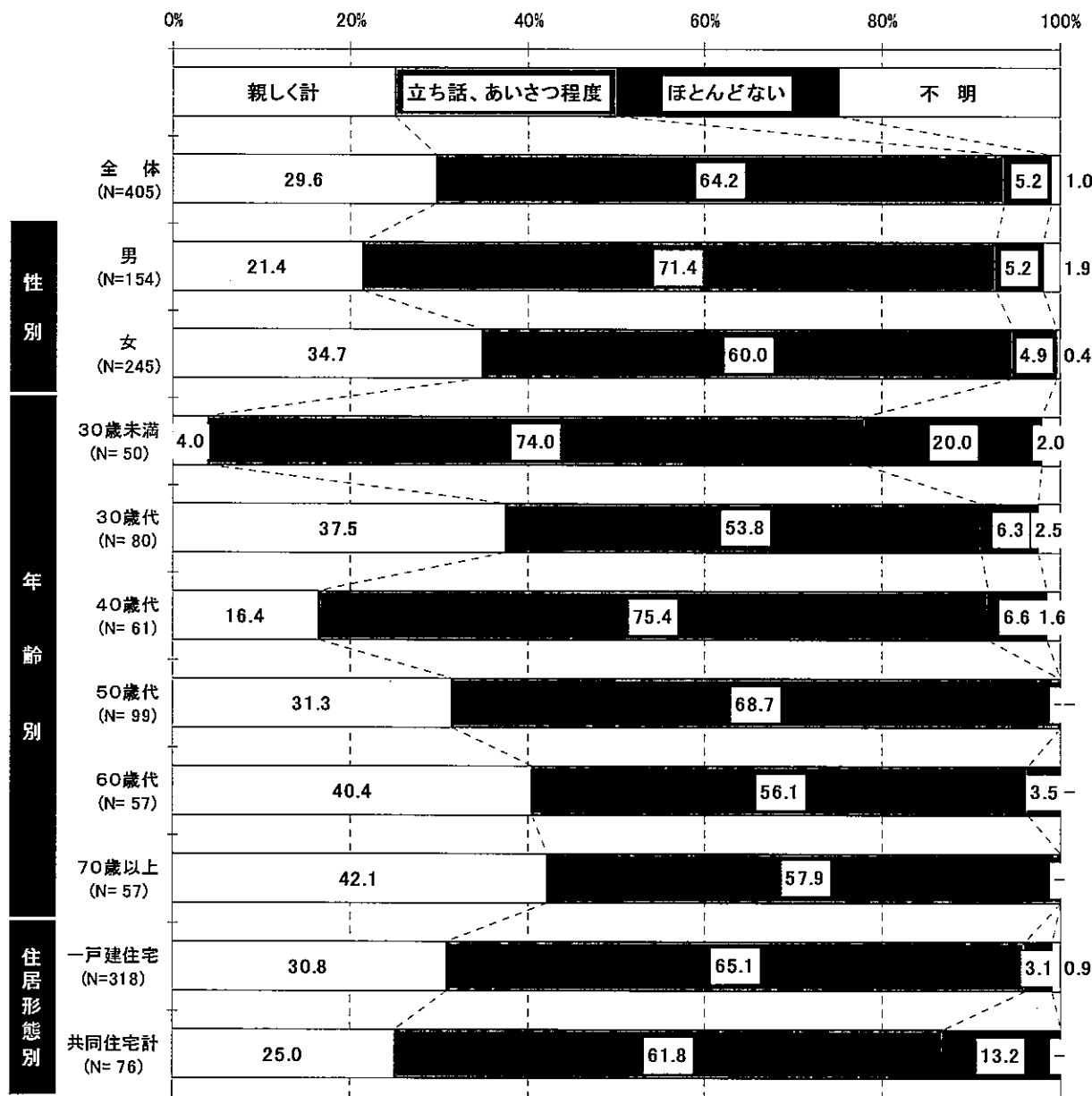
問15. 地域住民に手伝ってほしいこと(複数回答、%)



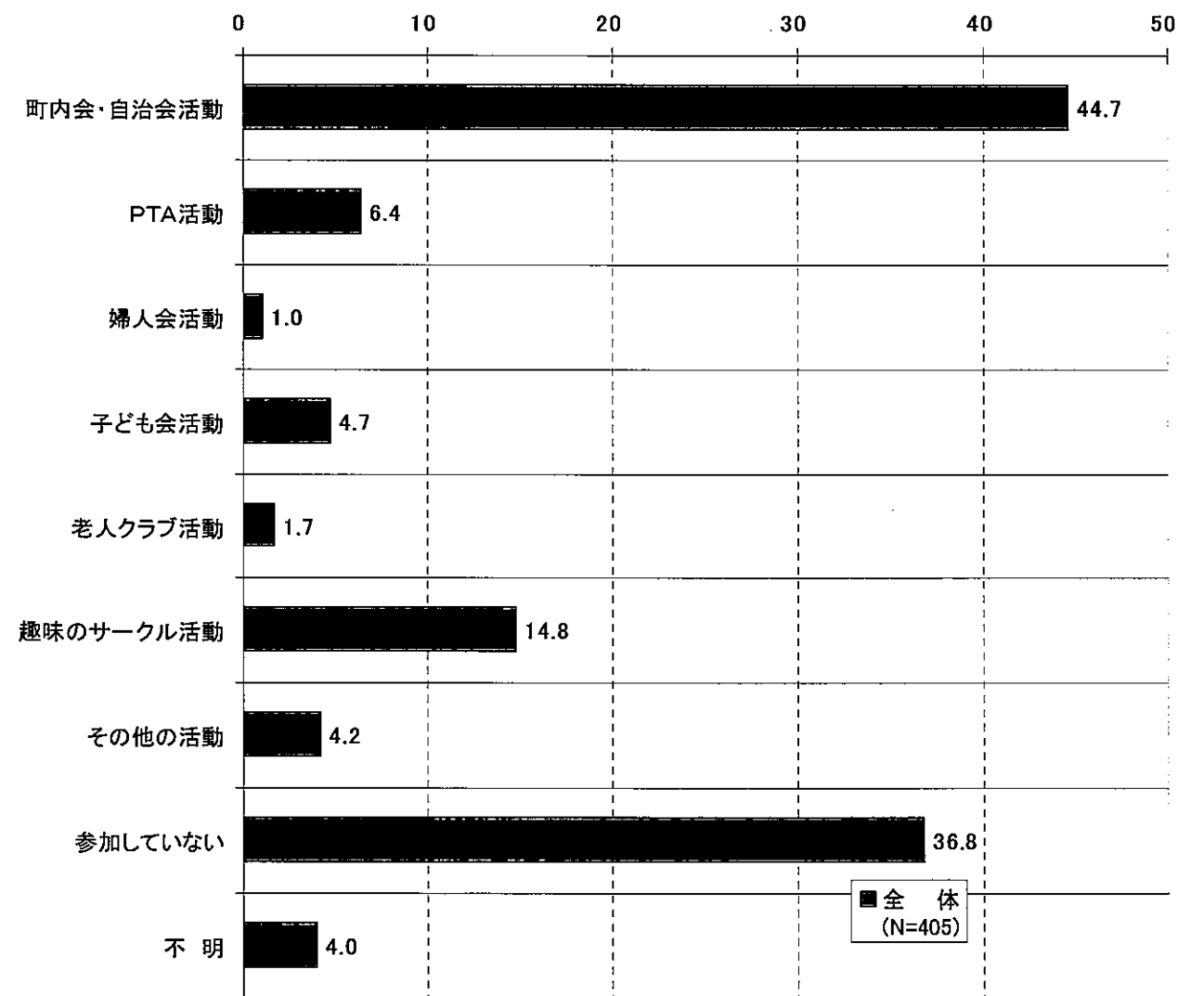
アンケート集計結果 (3) 近所づきあい、地域活動について ～地域に面識があっても活動していない人を、地域活動に取り込むことが必要～

- ・地域で、親しくつきあっている、立ち話する程度を含めると、地域で面識をもっている方は、93.6%にもなります。
- ・住民が参加している地域活動について、町内会活動には44.7%の方が参加しており、その他にもPTA活動、婦人会活動、子供会活動、老人クラブ活動、趣味のサークル活動など、住民は多くの分野の活動に参加しています。一方、参加していないと答えた方は36.8%います。
- ・地域で面識をもっている方が93.6%もいることから、これらの人々を町内会・自治会活動など地域活動に参加してもらえよう地域での連携が重要と思われる。
- ・今後は、いわゆる団塊の世代が職場生活から、地域生活へ移行してくることが予想されることから、これらの方々の地域活動への参加が期待されます。

問12. 近所との付き合い(%)



問13. 参加している地域活動(複数回答、%)

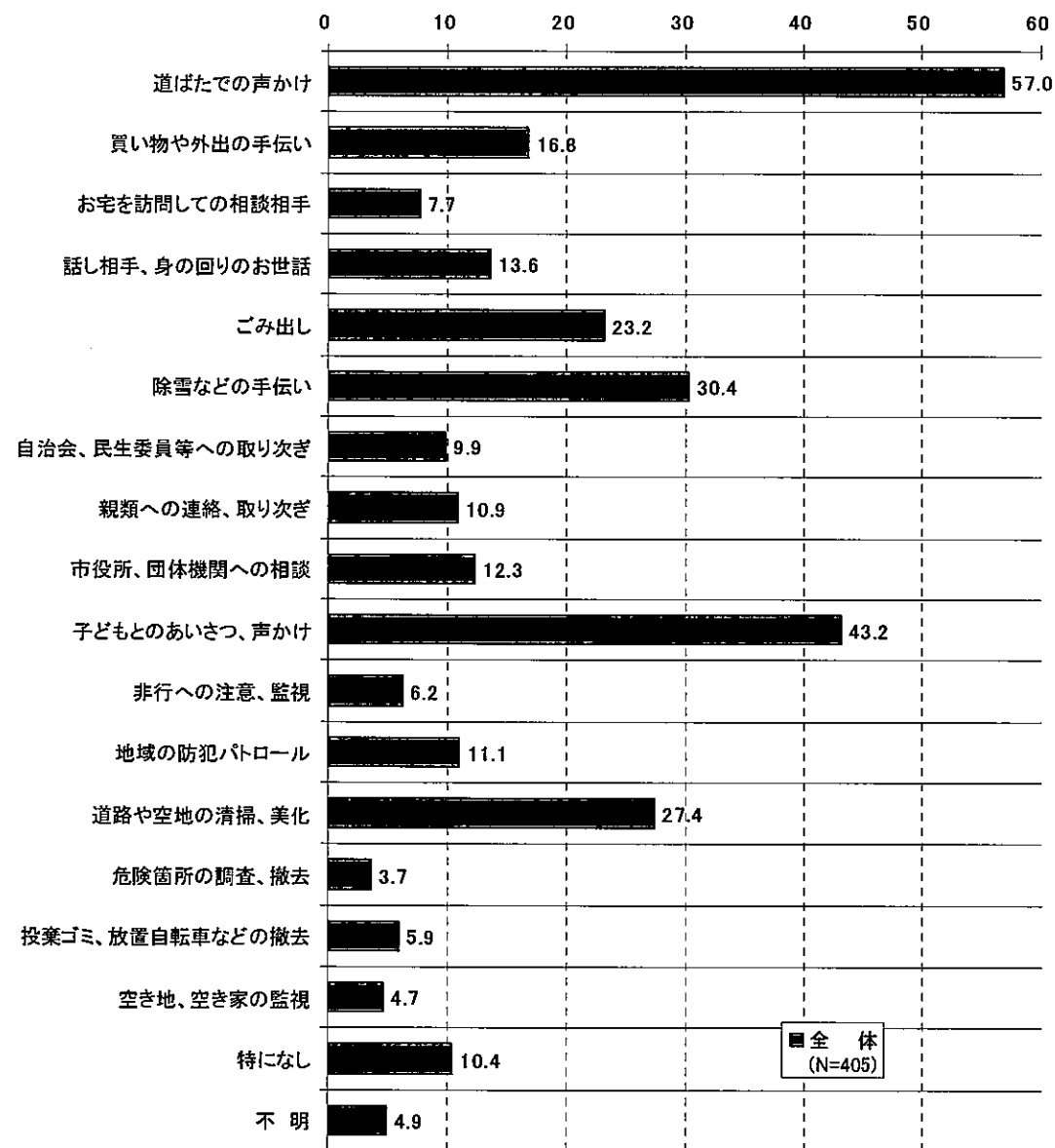


アンケート集計結果 (4) 地域活動について

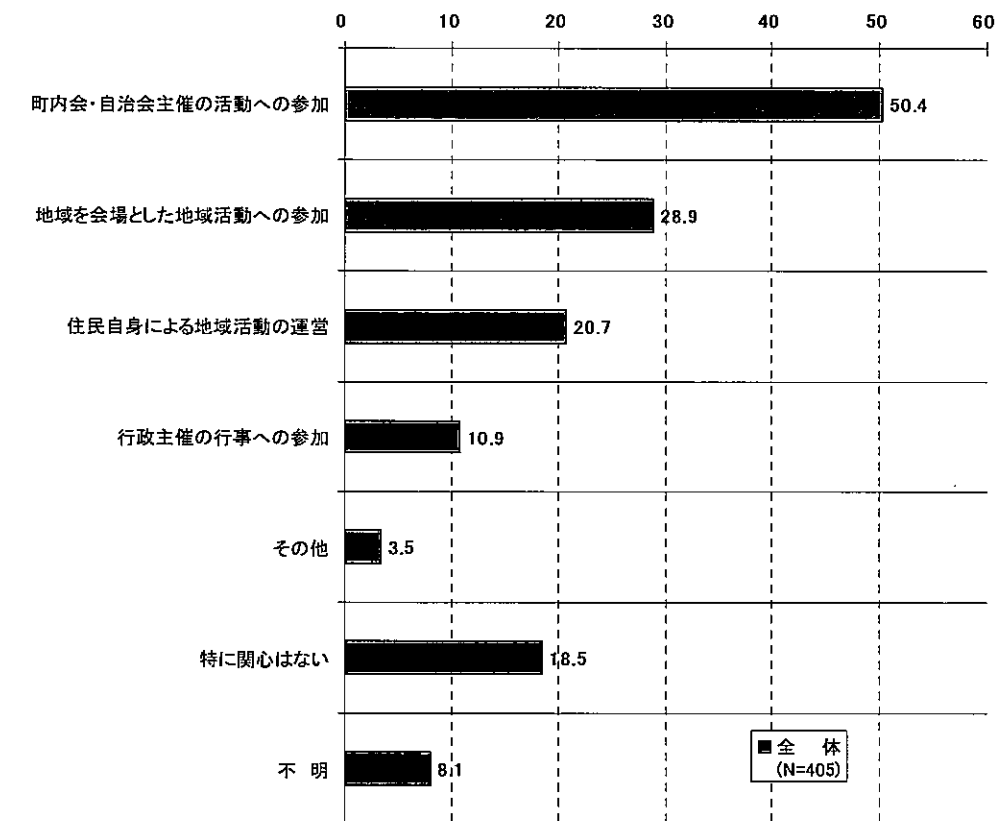
～地域の人をつながり的大事にした地域活動の展開が重要～

- ・住民が、自分でしてあげられる地域活動としてあげられているのは、「道ばたでの声かけ（57.0%）」、「子どもとのあいさつ、声かけ（43.2%）」、「除雪などの手伝い（30.4%）」、「道路や空地の清掃、美化（27.4%）」などです。
- ・地域活動を活発化させる方策として期待されていることは、「町内会・自治会主催の活動への参加（50.4%）」、「地域を会場とした地域活動への参加（28.9%）」などとなっています。確実にできること、普段やっていることを、地域の活動として地域で実行することが想定されています。
- ・地域活動を推進するために必要なこととしては、「人とのつながり、ネットワーク（54.8%）」、「地域住民の理解（52.1%）」などであり、行政の支援もさることながら、地域での人とのつながりが重要という結果になっています。
- ・地域活動は、確実に、気軽に継続的に参加し、行われ続けることが重要です。地域住民にできること、地域の資源や特性に応じて、多くの方の関心のあることから始めることが効果的と思われます。

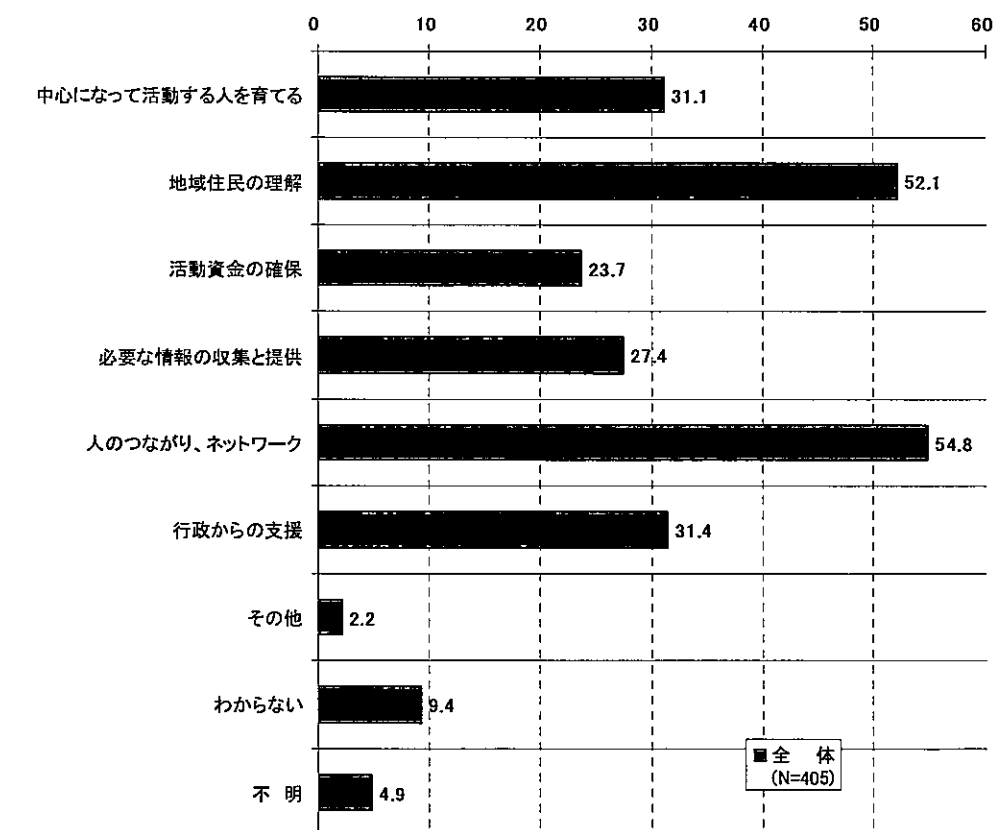
問16. 自分がしてあげられる地域活動(複数回答、%)



問17. 地域活動を活発化させる方策(複数回答、%)



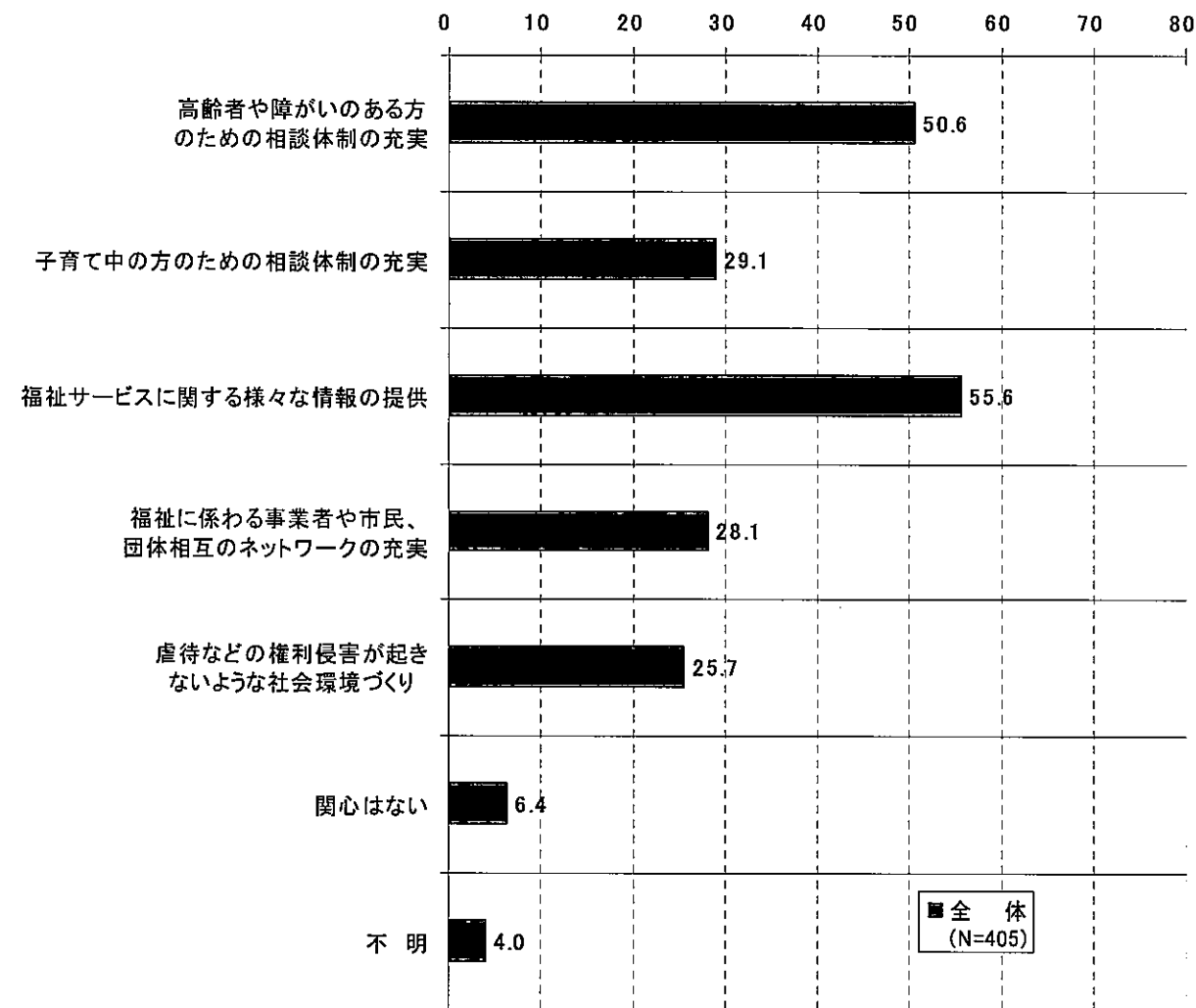
問18. 地域活動を進める上で必要なこと(複数回答、%)



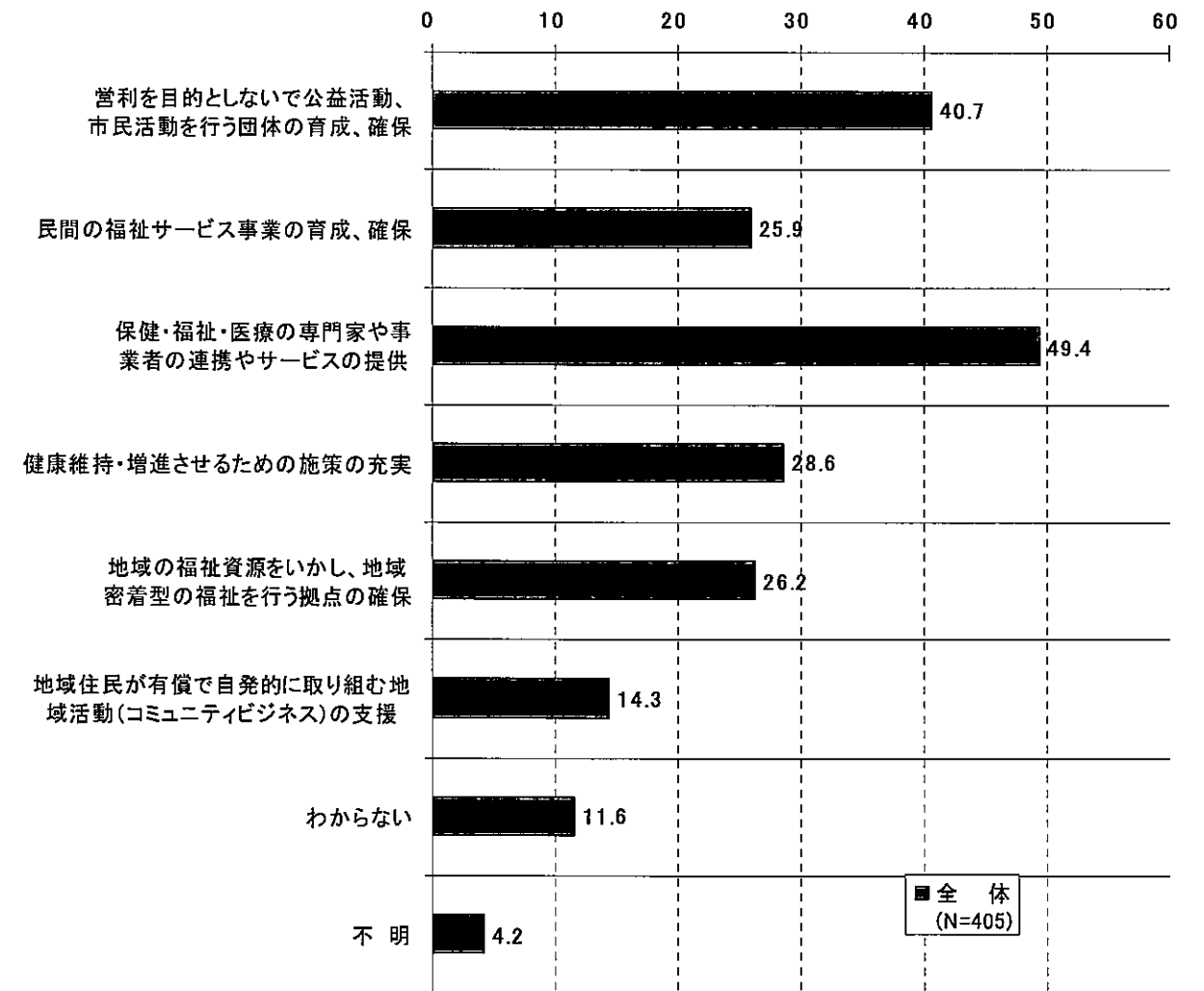
アンケート集計結果 (5) 福祉施策に対する意向について ～誰もが参加できる組織づくりが必要～

- ・回答者の9割の方が、何らかの福祉サービスに関心を持っています。
- ・福祉サービスで関心の高いことは、「福祉サービスに関する様々な情報の提供(55.6%)」、「高齢者や障がいのある方のための相談体制の充実(50.6%)」などとなっています。住民は正確な情報や責任を持って相談を受ける相談体制の充実を求めています。
- ・福祉活動の充実として必要なことは、「保健・福祉・医療の専門家や事業者の連携やサービスの提供(49.4%)」、「営利を目的としない公益活動、市民活動を行う団体の育成、確保(40.7%)」となっています。
- ・このような傾向は、地域住民の高齢化や要援護者が増える中で、さらに高まると考えられます。

問19. 福祉サービスで関心のあること(複数回答、%)

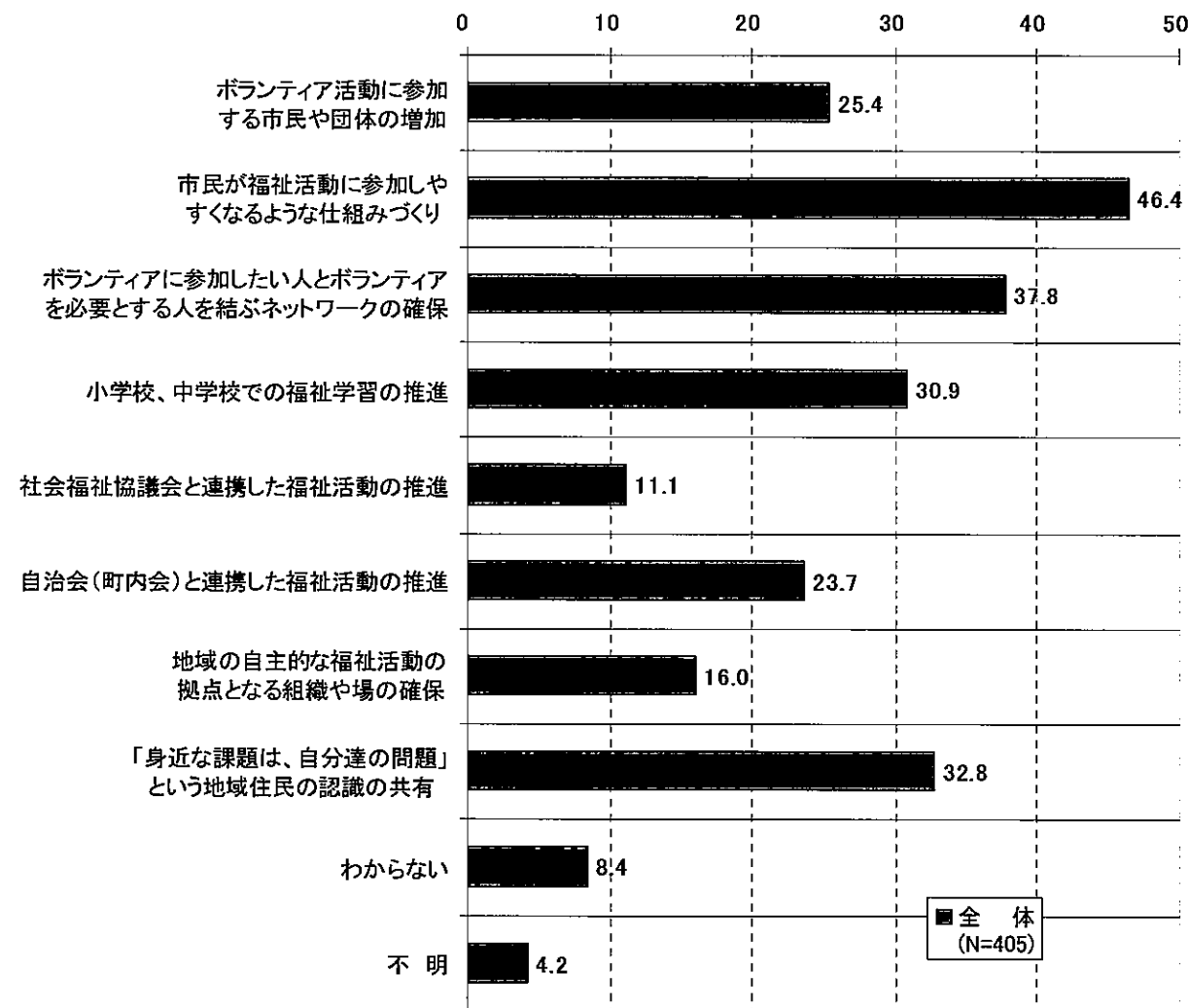


問20. 福祉活動の充実のために必要なこと(複数回答、%)

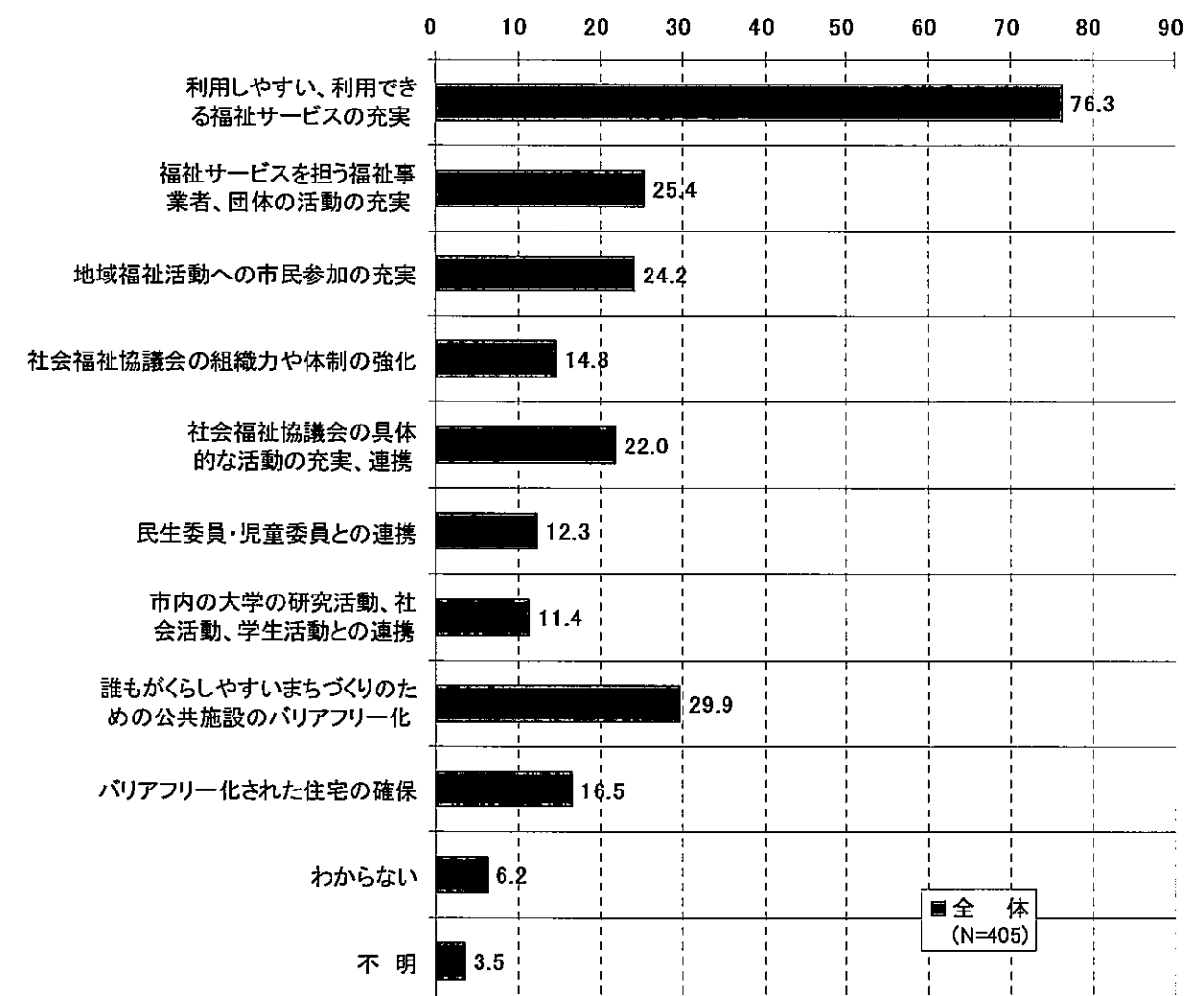


- ・地域福祉活動への市民参加としては、「市民が福祉活動に参加しやすくなるような仕組みづくり（46.4%）」、「ボランティアに参加したい人とボランティアを必要とする人を結ぶネットワークの確保（37.8%）」が重要視されています。また、「身近な課題は自分たちの問題（32.8%）」という責任感や「小学校、中学校での福祉学習の推進（30.9%）」という指摘もあります。
- ・地域福祉活動推進のためには、「利用しやすい、利用できる福祉サービスの充実（76.3%）」が重要視されています。また、誰もが暮らしやすいまちづくりのためのバリアフリー化が求められています。

問21. 地域福祉活動への市民参加に必要なこと(複数回答、%)



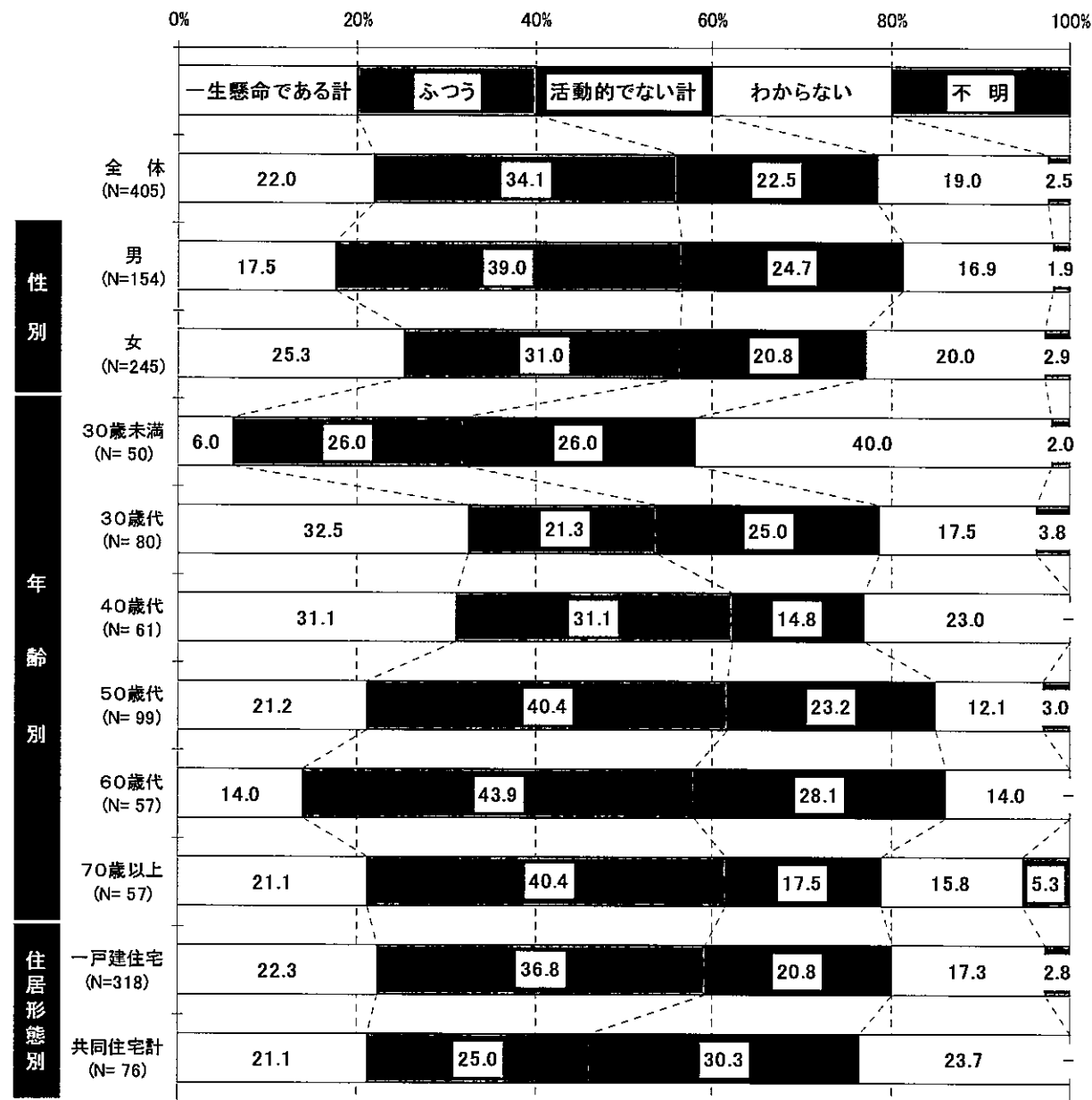
問22. 地域福祉活動推進のために必要なこと(複数回答、%)



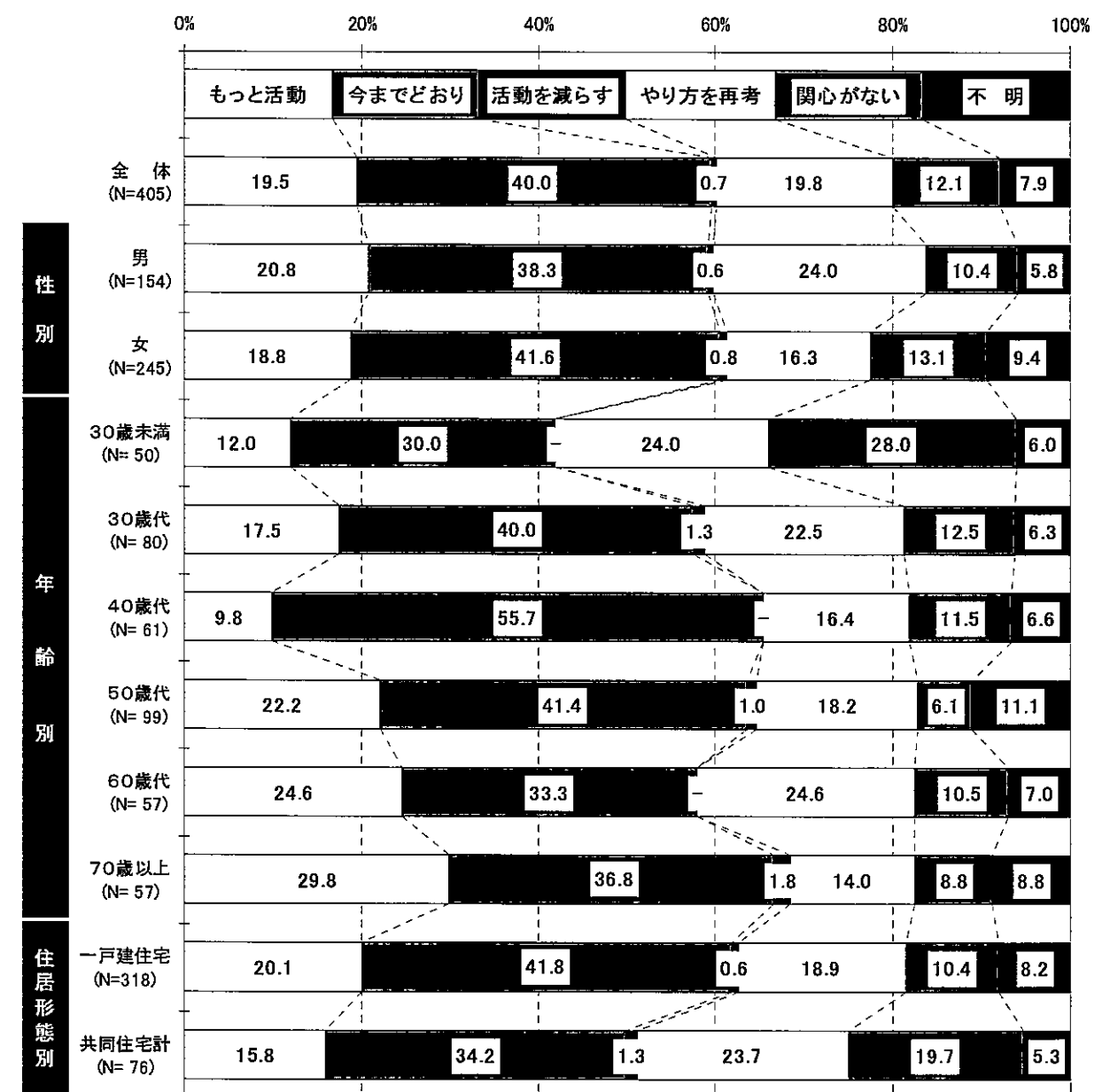
アンケート集計結果 (6) 地域活動に対する評価について ～地域のニーズに対応した地域活動が求められています～

- ・住民から見ると自分たちが住んでいる地域が活動的でないと感じている方は、全体で22.5%います。とくに30歳未満の方(26.0%)、共同住宅の方(30.3%)でわからないの比率が高くなっています。わからないと答えた方は全体では19.0%ですが、30歳未満の方で40.0%となっており、若い方を中心に、地域活動が住民に見えずらいこともうかがえます。
- ・一方、今後の地域活動の進め方は、高齢者を中心に、もっと活動すべき(19.5%)との指摘もありますが、やり方を再考すべき(19.8%)との意見も出されており、特に60歳台(団塊の世代)は1/4の方から再考すべきとの回答が出されています。
- ・これからの地域活動は、地域のニーズに応じた活動の展開が必要となってきています。

問23. 地域活動の印象(%)



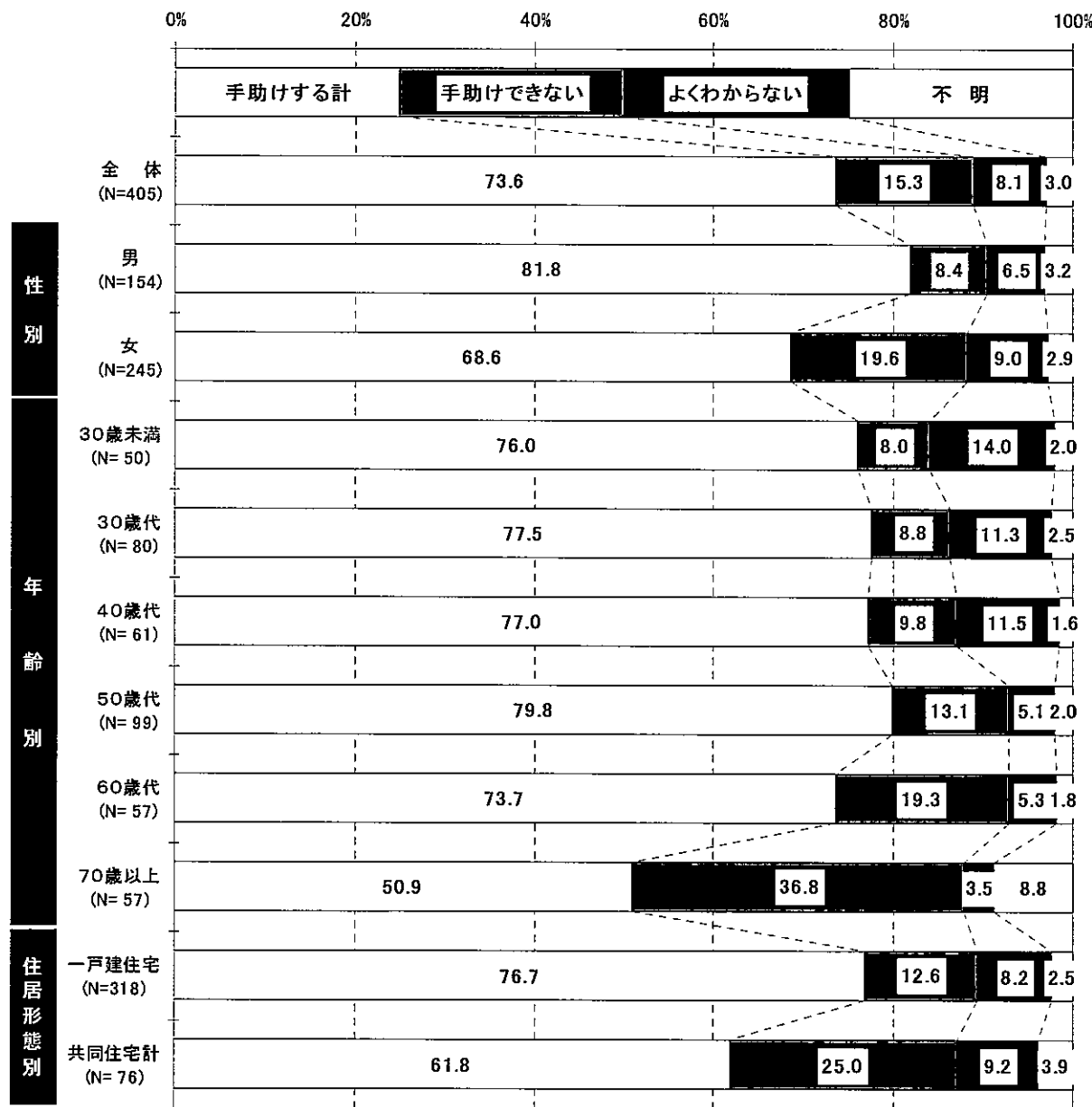
問24. よいと思う地域活動の進め方(%)



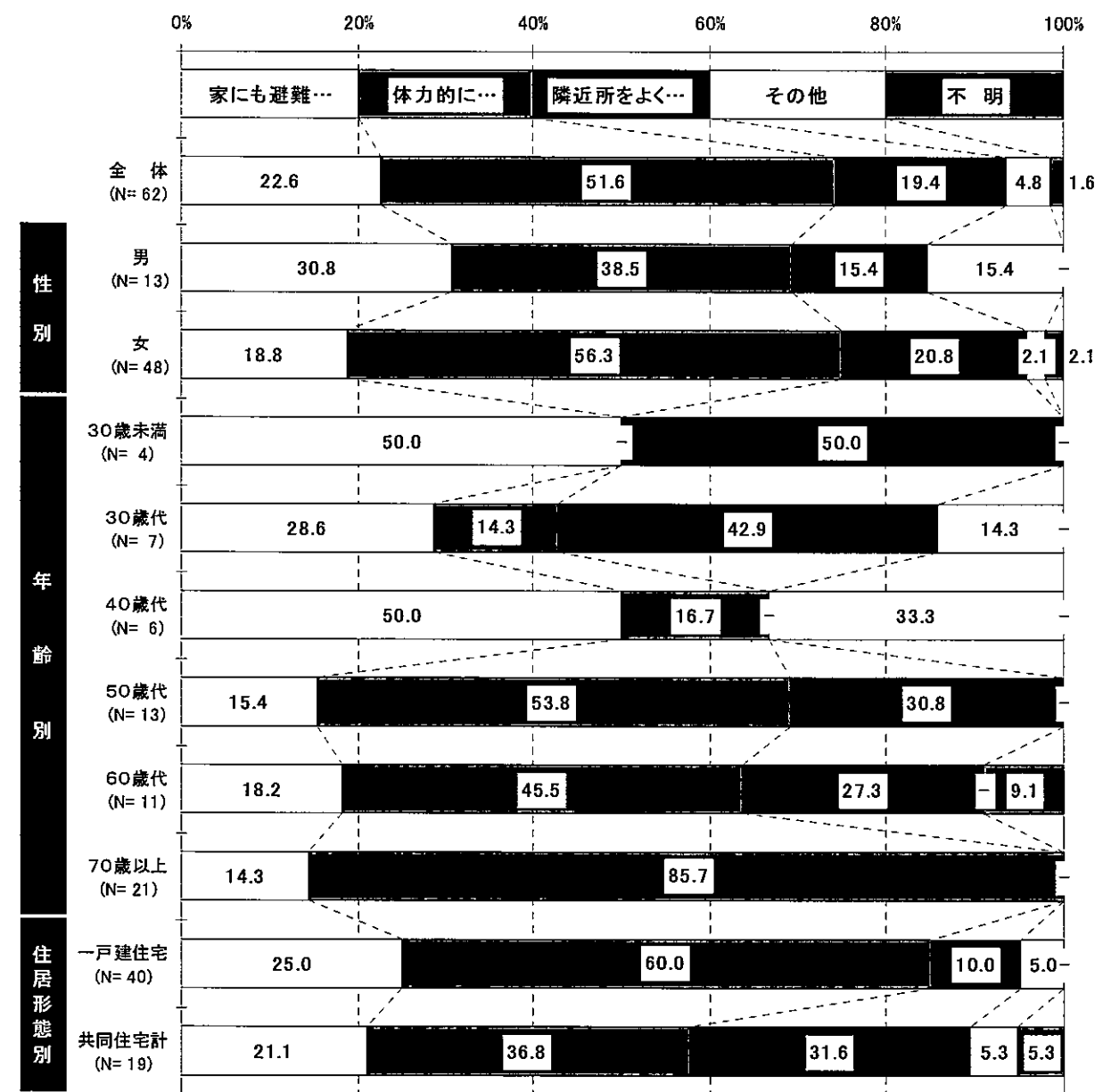
アンケート集計結果 (7) 災害時の助け合いについて ～支える側と支えられる側に意識の差が…～

- ・災害時の助け合いについては、73.6%の人は手助けすると答えてくれました。また、手助けできないと答えた方は15.3%、よくわからないと答えた方は8.1%いました。何らかの理由があって手助けできない人も加えると、回答者の85%は、災害時の助け合いに関心のあることがわかりました。
- ・手助けできないとの回答で高かったのは70歳以上の方(36.8%)で、体力的にむずかしい(85.7%)ためとなっています。また、共同住宅に住んでいる方(25.0%)は、隣近所をよく知らない(31.6%)、体力的にむずかしい(36.8%)ためとなっています。
- ・手助けできない理由は、全体では、体力的にむずかしい(51.6%)、家にも避難できない人がいる(22.6%)の順となっており、隣近所をよく知らないは19.4%となっています。
- ・回答者の個人レベルの意識の高さを、実際の地域づくりに反映させる必要があります。

問25. 災害時の手助けの可否(%)

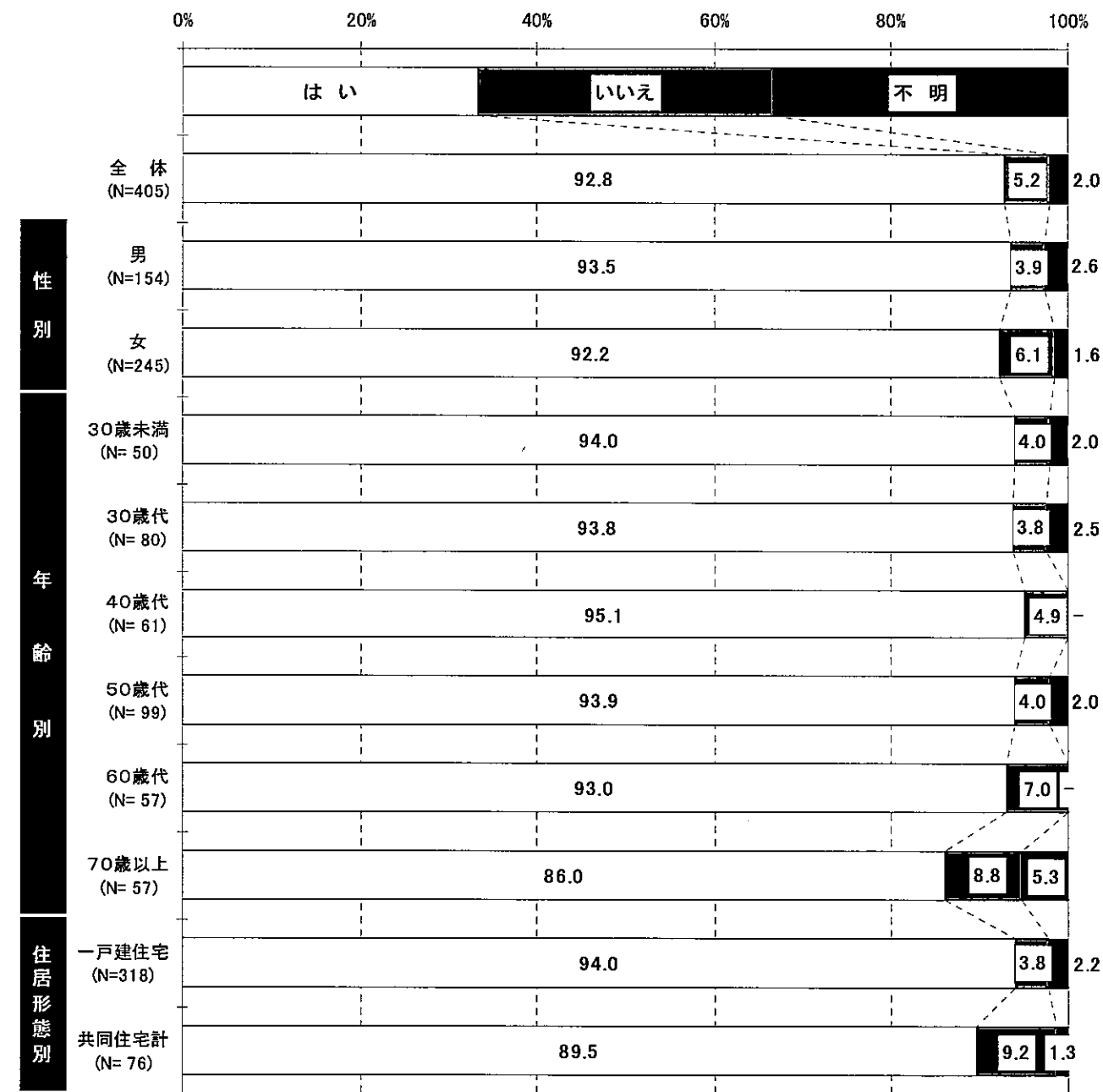


問25(1). 災害時に手助けできない理由(%)



- ・災害時に自力避難ができると答えた方は92.8%で、できないと答えた方は5.2%でした。
- ・自力避難できないと答えた方が避難支援を受けるための個人情報提供の範囲としては、市役所(61.9%)、消防(52.4%)、警察(33.3%)などとなっており、自治会・町内会は14.3%でした。また、提供する考えはないは4.8%でした。
- ・自力避難できないと答えた人のうち、よくわからない方が約15%あり、これら情報提供をちゅうちょしている方に対し、地域における支えあいについて理解を深める必要があると思われます。

問26. 災害時の自力避難の可否(%)



問27. 避難支援のために個人情報を提供できる相手(複数回答、%)

